

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 12 日現在

機関番号：12608

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2012～2014

課題番号：24531061

研究課題名(和文) 留学生受入れによる地域活性化の取組みと社会統合の課題に関する国際比較研究

研究課題名(英文) Comparative Study on the Revitalization of Regional Cities Through Social Integration of International Students

研究代表者

佐藤 由利子 (Sato, Yuriko)

東京工業大学・留学生センター・准教授

研究者番号：50323829

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では国際教育における大都市と地方の格差に着目し、大学等と協働して留学生の受入れや就職・起業支援に取り組む自治体や、地域間格差是正策を行う国の内、福岡県、広島県、韓国、オーストラリアを取り上げ、取組みや政策を横断的に比較するとともに、それらの取組みが留学生や地域社会に与えた影響を分析し、10本の論文(内6本が査読付き)、16件の学会発表(内、国際会議1件)、3つの図書を発表した。また、科研報告書(104頁)を作成、配布し、下記のURLで公開した。
<http://www.ryu.titech.ac.jp/~yusato/科研報告書留学生受入れによる地域活性化と社会統合2.pdf>

研究成果の概要(英文)：When compared to metropolitan cities, regional cities have several disadvantages in trying to attract international students. They all face common phenomena including an aging population, a smaller number of companies and less employment opportunities. Many international students prefer to study in a metropolitan city, seeking a more exciting environment and better employment and part-time job opportunities. Several municipalities have started working with local universities and companies to attract and support international students to revitalize and internationalize the regions. In this research, these efforts and policies in Fukuoka and Hiroshima prefectures in Japan, the Australian State of South Australia (SA) and Daegu city in Korea were compared and social changes were analyzed.

研究分野：留学生政策、教育の国際化、高度人材、地域開発

キーワード：留学生 地域活性化 社会統合 地域間格差 教育の国際化 グローバル人材 留学生就職支援 高度人材

1. 研究開始当初の背景

地方は大都市圏に比べ、人口の高齢化、企業誘致や雇用確保の困難さなどの課題を抱えており、留学生獲得においても、学生が大都会に惹きつけられる、アルバイト先や就職先が少ないなど、不利な立場に置かれていることが多い。他方、物価の安さ、地域文化、豊かな自然、行政・教育機関・産業界が一体となった支援など、地方ならではのメリットも数多く存在する。留学生増加はプラスの経済的、社会的効果をもたらすことが知られており、自治体の中には、地域振興策の一環として、大学等と協働して留学生の受入れや支援に取組む事例が見られる。

2. 研究の目的

本研究では「留学生受入れによる地域活性化」を目指した取組みを行っている国内（福岡、広島等）及びオーストラリア、韓国の地方自治体において、各々の取組みの特徴と社会的背景を比較すると共に、自治体・企業等の支援により行われる「留学生の地域社会への統合促進活動」（地元企業や住民との交流等）が留学生の意識や進路選択に及ぼす影響と、留学先の自治体に定着（就職・起業）した留学生が地域や雇用先企業にもたらす社会的変化に焦点を当て、留学生の社会統合の課題と必要な支援について明らかにすることを目的とする。

3. 研究の方法

本研究では、まず、対象国/地域の政府、自治体、大学及び留学生の就職支援を行う関係団体の担当者に聞き取り調査を行い、また、関連の政策文書や統計を分析し、各地域で実施されている取り組みや政策の概要とその背景を把握した。

次に、対象地域に定着（就職・起業）した元留学生への面接調査を実施し、当該地域で就職した理由、現在の雇用環境や生活環境、直面する課題、将来の計画等について、把握した。

さらに、雇用先企業や地域住民への聞き取り調査を実施し、元留学生がどのように組織に貢献し、周辺住民に受け止められているのか、また、どのような支援が行われているのかを把握した。

最後に、上記の調査結果を踏まえ、留学生受入れ・定着による地域活性化/社会統合の取組み、企業/地域社会にもたらされた変化と課題、留学生の意識の変化、必要な政策や措置を、社会・経済条件を踏まえた上で横断的に分析した。

4. 研究成果

大学等と協働して留学生の受入れや就職・起業支援に取組む自治体や地域間格差は正策を行う内、福岡県、広島県、韓国、オーストラリアを取り上げ、取り組みや政策内容を横断的に比較するとともに、それらの取組み

や政策が、留学生や地域社会に与えた影響と課題を分析し、研究分担者と共に 10 本の論文（内、6 本が査読付き）16 件の学会発表（内、国際会議 1 件）3 つの図書を発表した。また、科研報告書（104 頁）を作成、配布し、下記の URL でも公開した。

<http://www.ryu.titech.ac.jp/~yusato/科研報告書留学生受入れによる地域活性化と社会統合2.pdf>

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計 10 件)

1. 佐藤由利子(2015)「留学生政策と技術移民政策の連携と課題 - 主要国の取り組み傾向とオーストラリアの事例分析から -」、移民政策研究第 7 号、101-116 頁（査読付き）
2. 佐藤由利子(2015)「韓国における頭脳獲得・還流政策と留学生政策 - 移民政策との関係性と日本への示唆 -」、『大学論集』、第 47 集、105-120 頁（査読付き）
http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/37315/20150526104136504098/DaigakuRonshu_47_105.pdf
3. 佐藤由利子(2014)「オーストラリアにおける留学生の誘致及び社会統合の取り組みと課題 - 南オーストラリア州の事例から -」、『オセアニア教育研究』、20:42-59（査読有）
4. 佐藤由利子(2014)「教育の国際化における地域間格差の是正策 - 韓国と日本の比較から -」、『大学論集』、第 45 集、33-48 頁（査読有）
http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/36538/2015010813563882924/DaigakuRonshu_45_33.pdf
5. 佐藤由利子(2014)「自治体による外国人留学生受け入れを通じた地域活性化の取り組み」自治体国際化フォーラム 2014 年 5 月号、第 295 巻、10-12 頁（査読無）
6. 白土悟(2014)「多文化共生社会で生きる - 福岡都市圏における取り組み -」ウェブマガジン『留学交流』2014 年 9 月号

- Vol. 42, 1-10 頁 (査読無)
7. 佐藤由利子(2013)「日本留学の利点とコスト - 日米豪の私費留学生の学費、生活費、支援金等の経済的要因の比較から - 」『留学生教育』、18: 25-34 頁 (査読有)
 8. 佐藤由利子(2013)「地方留学の利点と課題 - 大分、秋田、鳥取の留学生の交流状況と意識に関する調査から - 」『大学論集』、第 44 集、287-302 (査読有)
http://rihe.hiroshima-u.ac.jp/pl_daigaku_2.php?k=44&y=2013&m=3
 9. 佐藤由利子・岩本晃一 (2013)「地域経済 / これから地方はどうやって食べていくか (5) - 持続可能な地域経済モデルを求めて - 留学生誘致による地域活性化」産業立地 2013 年 5 月号、第 52 巻第 3 号、35-40 頁 (査読無)
 10. 佐藤由利子 (2012) 論考「留学生受入れによる地域活性化の取組みと課題」、『ウェブマガジン「留学交流」、2012 年 6 月号 (査読無)
<http://www.jasso.go.jp/about/documents/satoyuriko.pdf>
- [学会発表] (計 16 件)
1. 佐藤由利子(2015)「米国、オーストラリア、ドイツ、日本における留学生・高度人材誘致政策の比較」『移民政策学会 2015 年度春季大会』2015 年 3 月 14 日 早稲田大学 (東京都新宿区)
 2. 佐藤由利子(2014)「地方における教育の国際化の推進 韓国大邱市における教育の国際化特区の取り組み」『日本高等教育学会第 17 回大会』、2014 年 6 月 28 日 ~ 29 日、大阪大学 (大阪府吹田市)
 3. 佐藤由利子(2014)「地方留学促進政策と留学生の社会統合の課題 - 南オーストラリア州の事例から - 」『移民政策学会 2014 年度冬季大会』2014 年 12 月 13 日 大阪大学 (大阪府豊中市)
 4. 佐藤由利子(2014)「オーストラリアにおける留学生政策と技術移民政策の関係性の変化」、移民政策学会 2014 年度春季大会、2014 年 3 月 22 日 早稲田大学 (東京都新宿区)
http://iminseisaku.org/top/conference/doc/140322_sato.pdf
 5. Sato, Y. (2013) Revitalization of Rural/Regional Areas through an Increase in International Students, Proceedings of the 1st Asia Future Conference 2013, pp. 199-205, on on March 9, 2013 at Centara Grand, Bangkok, Thailand, (タイ・バンコク) Best Paper Prize、Best Presentation Prize 受賞
 6. 佐藤由利子、尾本勝昭、青山 桃子、竹田 洋志 (2013) 共通論題セッション「グローバル人材の育成・定着支援による地域活性化とその評価」『日本評価学会第 14 回全国大会発表要旨集録』39-68 頁、2013 年 12 月 14 日、米子コンベンションセンター (鳥取県米子市)
 7. 佐藤由利子(2013)「教育の国際化 / 留学生受入れによる地域活性化の取り組み：韓国と日本の比較から」『日本比較教育学会第 49 回大会発表要旨集録』137 頁、2013 年 7 月 7 日、上智大学 (東京都千代田区)
 8. 佐藤由利子(2013)「留学生政策と移民政策の連携 オーストラリアと日本のポイント制の比較から 」『移民政策学会 2013 年度年次大会抄録集』9-10 頁、2013 年 5 月 12 日、甲南大学 (兵庫県神戸市)
http://iminseisaku.org/top/conference/130512_sato.pdf
 9. 佐藤由利子(2013)「地方留学の利点と課題 - 大分、秋田、鳥取における留学生の地域住民との交流状況と意識調査から

- 』『2013 年度異文化間教育学会第 34 回大会発表抄録』86-87 頁、2013 年 6 月 8 日、日本大学（東京都世田谷区）
10. 佐藤由利子（2012）「ステークホルダー別セオリー評価の可能性と課題 大分県の留学生受入れによる地域活性化の取組みを事例として - 』『日本評価学会第 13 回全国大会発表要旨集録』207-210、2012 年 12 月 2 日、京都府立大学（京都府京都市）
 11. 佐藤由利子（2012）「留学生受入れによる地域活性化の取組みと社会統合の課題」、移民政策学会 2012 年度年次大会、2012 年 5 月 20 日、明星大学（東京都日野市）
 12. 佐藤由利子（2012）「留学生受け入れによる地域の活性化 - 秋田の留学生の意識の変化と交流の課題 - 』『第 33 回大会発表抄録 2012 年度異文化間教育学会』60-61、2012 年 6 月 9 日、立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）
 13. 佐藤由利子（2012）「日米豪における私費留学生のもたらす経済便益と社会的効果及びコストに関する考察』『日本高等教育学会第 15 回大会発表要旨集録』47-48 頁、2012 年 6 月 2 日、東京大学（東京都文京区）
 14. 佐藤由利子、白土悟、西川芳昭、長島万里子（2012）ラウンドテーブル「留学生受入れ・定着による地域活性化 - JICA 研修による地域づくりとの比較と意識変化を捕捉する枠組みの検討 - 』日本比較教育学会第 48 回大会、2012 年 6 月 15 日、九州大学（福岡県福岡市）
 15. 佐藤由利子（2012）「留学生等外国人材受入れによる地域活性化の取組みの横断的比較と評価の課題』『日本評価学会春季第 9 回全国大会発表要旨集録』85-90、2012 年 6 月 30 日、文教大学女子短期大学部（神奈川県茅ヶ崎市）

16. 佐藤由利子、隈本順子、太神みどり、レイモンド・ラングリー、竹田洋志（2012）共通セッション「自治体・大学・企業の連携による留学生支援と地域活性化の事例と課題」自治体・大学・企業の連携による留学生支援と地域活性化 - 期待される主な成果と横断的分析のためのフレームワーク』『留学生教育学会第 17 回研究大会プログラム・要旨集』13-14、2012 年 8 月 31 日、東京外国語大学（東京都府中市）

〔図書〕(計 3 件)

1. 佐藤由利子（2015）「第 3 章 韓国におけるグローバル人材の現況と政策展開」、駒井洋監修、明石純一・五十嵐泰正編著『グローバル人材をめぐる政策と現実』、明石書店、56-73 頁
2. 佐藤由利子（2014）「留学生受け入れと地域の活性化」、宮島喬・鈴木江理子他編著『別冊『環』なぜ今、移民問題か』、藤原書店、220-225 頁
3. Sato, Yuriko, Hashimoto Hiroko（2014）“Revitalization of Rural/Regional Areas through an Increase in International Students”, in Proceedings of the 1st Asia Future Conference 2013 第 1 回アジア未来会議優秀論文集 Best Papers of the 1st Asia Future Conference 公益財団法人渥美国際交流財団 pp.145-153

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：

発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

科研報告書を、下記の URL で公開した。

<http://www.ryu.titech.ac.jp/~yusato/> 科研報告書留学生受入れによる地域活性化と社会統合 2.pdf

6 . 研究組織

(1)研究代表者

佐藤 由利子 (SATO, Yuriko)
東京工業大学留学生センター・准教授
研究者番号：50323829

(2)研究分担者

白土 悟 (SHIRATSUCHI, Satomi)
九州大学留学生センター・准教授
研究者番号：60154372

長島 万里子 (NAGASHIMA, Mariko)
洗足こども短期大学・幼児教育保育科・講師
研究者番号：60591451

(3)連携研究者

隈本 順子 (KUMAMOTO, Junko)
大分大学・国際教育研究センター・教授
研究者番号：60336245